

伊方町立保育所の耐震化状況について

保育所施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であることから、その安全性の確保が非常に大切です。

伊方町には、昭和56年以前に建築された非木造建物が2棟あり、その内、耐震診断の結果、危険度が高く緊急に整備する必要がある施設1棟について耐震化を実施しました。

つきましては、伊方町内の保育所施設の耐震化状況をお知らせいたします。

町内の保育所耐震化の状況一覧

(平成25年4月1日現在)

保育所名	構造階数	建物区分	建築年月	面積(m ²)	診断結果(I s 値)	備考
伊方保育所	R 2	保育所	S 53. 7	892. 13	0. 63	H22. 2 移転建替 H23. 3 旧施設解体
大浜保育所	R 2	保育所	S 52. 3	355. 96	0. 84	地震の震動及び衝撃に対して倒壊、または崩壊する危険性が低い。

- ・ 構造階数欄に「R」とあるのは鉄筋コンクリート造をいいます。
- ・ 診断結果は第2次診断法によるものとなっています。
- ・ 「I s 値」とは、建物の耐震性能を数値化したもので、その数値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
- ・ 「I s 値」は、その棟の診断箇所の最低値を記入しています。